

経営情報 レポート

Available Information Report for Corporate Management

歯科医院経営データ分析 平成 22 年 歯科医療法人 経営実績報告

- 1 平成 22 年 歯科医療法人経営データ分析
- 2 平成 22 年 優良歯科医院の経営実態
- 3 平成 22 年 歯科医院経営指標分析



株式会社 常陽経営コンサルタンツ

1 | 平成 22 年 歯科医療法人経営データ分析

【データ分析概要】

歯科医療法人 70 件を分析母体とし、平成 22 年の決算データを集計。

医業収入、医業費用等の一法人当たりの平均数値を集計し前年比較を実施。

■平成 22 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 21 年	平成 22 年	前年対比 (%)
I 医業収入	67,146	62,586	93.2
1. 保険診療	57,455	55,598	96.8
2. 自由診療収入	9,117	6,456	70.8
3. その他の医業収入	574	532	92.7
II 変動費	14,707	13,029	88.5
医薬・歯科材料費	7,164	6,435	89.8
外注技工料	7,543	6,594	87.4
III 限界利益	52,439	49,557	94.5
IV 医業費用	46,161	47,641	103.2
1. 人件費	29,744	30,385	102.2
(うち役員報酬)	(18,493)	(17,556)	(94.9)
2. その他固定費	16,417	17,256	105.1
設備関係費	8,701	8,041	92.4
(うち減価償却費)	(3,174)	(2,611)	(82.3)
接待交際費	1,078	1,007	93.4
研究研修費	358	273	76.3
保険料	1,262	973	77.1
旅費交通費	872	792	90.8
通信費	594	591	99.5
消耗器具備品費	801	720	89.9
水道光熱費	1,074	1,007	93.8
その他	1,677	3,852	229.7
V 医業収益	6,278	1,916	30.5

1 | 業績総括

平成 22 年歯科医療法人の経営実績は、全法人平均で減収減益となりました。

■利益の状況

(単位：千円)

	平成 21 年	平成 22 年	前年対比 (%)
限界利益	52,439	49,557	94.5%
医業利益	6,278	1,916	25.7%
経常利益	6,050	1,617	26.7%

● 医業収入は、対前年比 6.8% (4,560 千円) 減収。

収入内訳は、社会保険収入 3.2%、自由診療収入 29.2%の減収。

● 医業費用総額は、60,670 千円で、ほぼ前年同額。

歯科材料費や外注技工料等の変動費は約 10% (1,678 千円) 減少。

人件費総額は 2.2%増加。

● 医業利益は、平成 22 年の全法人平均医業利益は、1,916 千円。

対前年比 30.5%となり大幅に減益。

2 | 医業収入分析

(1) 医業収入対前年比較

(単位：千円)

	平成 21 年	平成 22 年	前年対比 (%)
医業収入合計	67,146	62,586	93.2%
保険診療収入	57,455	55,598	96.8%
自由診療収入	9,117	6,456	70.8%
その他医業収入	574	532	92.7%

(2) 医業収入分析

- 医業収入は、平成 22 年調査対象全法人平均で、62,586 千円。
対前年 6.8%減収。
- 医業収入の内訳では、保険診療、自由診療とも減収。
社会保険診療は、前年対比 4.2%の減少。
自由診療収入は、前年対比 29.2%の減少。
特に自由診療収入の減少が、全体の医業収入の低下の大きな原因となっています。
- 総収入に占める、自由診療収入の割合は、全法人平均 10.3%、上位 20 社 16.2%
となっており、自費率向上が収益アップにつながる結果となっています。

3 | 医業費用 対前年増減比較

(1) 医業費用対前年比較

① 変動費（歯科材料費・外注技工料）

（単位：千円）

	平成 21 年	平成 22 年	前年対比 (%)
変動費合計	14,707	13,029	88.6%
変動比率	21.9%	20.8%	
薬品・歯科材料費	5,486	4,885	89.0%
外注技工料	7,543	6,594	87.4%

② 人件費・役員報酬

（単位：千円）

	平成 21 年	(対収入比%)	平成 22 年	(対収入比%)	前年対比 (%)
人件費合計	29,744	44.3%	30,385	45.3%	102.2%
役員報酬	18,493	27.5%	17,556	28.1%	94.9%
その他人件費	11,251	16.8%	12,829	20.5%	114.0%

③その他医業費用

(単位：千円)

	平成 21 年	(対収入費%)	平成 22 年	(対収入費%)	前年対比 (%)
固定費合計	16,417	24.5%	15,256	24.4%	92.9%
設備関係費 (うち減価償却費)	8,701 (3,174)	12.9% (4.7%)	8,041 (2,611)	12.8% (4.2%)	92.4% (82.3%)
接待交際費	1,078	1.6%	1,007	1.6%	93.4%
研究研修費	358	0.5%	273	0.4%	76.3%
保険料	1,262	1.8%	973	1.5%	77.1%
その他	4,018	5.9%	4,962	7.9%	80.9%

(3)医業費用分析

●医業費用

医業費用総額 60,670 千円。ほぼ前年と同額で推移。

●変動費

平成 22 年全社平均で、13,029 千円。

対前年比 11.4%の減少となり、2 年連続で減少。

各医院の歯科材料費や外注技工料の削減努力が、数値として業績結果にも反映されています。

●人件費

平成 22 年全社平均で、30,385 千円。対前年比 2.2%の増加。

売上対比の人件費率は、45.3%と高水準になっております。

(うち役員報酬が 17,556 千円含む)

人件費総額には、福利厚生費の増加分も含まれています。

●その他医業費用

平成 22 年全社平均で、16,417 千円。対前年比 5.1%の増加。

売上対比その他経費率は、27.6%。

2 | 平成 22 年 優良歯科医院の経営実態

【データ分析概要】

歯科医療法人 70 件を分析母体とし、平成 22 年の決算データを集計。

うち、医業収入上位 20% (14 件) を抽出し、優良法人として経営データを集計。

■平成 22 年 優良法人比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 21 年	平成 22 年	前年対比 (%)
I 医業収入	125,229	128,082	102.3
1. 保険診療	105,395	106,726	101.3
2. 自由診療収入	19,124	20,642	107.9
3. その他の医業収入	710	714	100.6
II 変動費	26,536	29,182	110.0
医薬・歯科材料費	12,657	13,491	106.6
外注技工料	13,879	15,691	113.1
III 限界利益	98,693	98,900	100.2
IV 医業費用	87,442	82,117	93.9
1. 人件費	53,973	51,885	96.1
(うち役員報酬)	(31,356)	(30,194)	(96.3)
2. その他固定費	33,469	30,232	90.3
設備関係費	16,574	15,986	96.4
(うち減価償却費)	(6,393)	(5,728)	(89.6)
接待交際費	2,149	1,848	86.0
研究研修費	302	367	121.5
保険料	1,888	1,861	98.6
旅費交通費	1,586	1,368	86.2
通信費	1,204	1,286	106.8
消耗器具備品費	1,311	1,346	102.7
水道光熱費	2,716	3,180	117.1
その他	5,739	2,593	45.2
V 医業収益	11,251	16,783	149.2

1 | 優良法人実績総括

平成 22 年優良歯科医院（医業収入上位 20 社）の経営実績は、増収増益となりました。

■利益の状況

（単位：千円）

	平成 21 年	平成 22 年	前年対比 (%)
限界利益	98,693	98,900	100.2%
医業利益	11,251	16,783	149.1%
経常利益	11,119	16,403	147.5%

- 医業収入は、対前年比 2.3%（2,850 千円）の増収。
収入内訳は、社会保険収入 1.3%、自由診療収入 7.9%の増収。
- 医業費用総額は、111,299 千円で、前年比 2.4%減少。
歯科材料費や外注技工料等の変動費は、医業収入の増加に応じて増加しています。
人件費総額は、3.9%減少。
- 医業利益は、平成 22 年の優良法人平均医業利益は、16,783 千円。
対前年比 149.1%となり大幅に増益。

2 | 医業収入 優良法人分析

(1) 優良法人 医業収入対前年比較

（単位：千円）

	平成 21 年	平成 22 年	前年対比 (%)
医業収入合計	125,229	128,082	102.3%
保険診療収入	105,395	106,726	101.1%
自費・労災・自賠	19,124	20,642	107.9%
その他医業収入	710	714	100.5%

(2) 医業収入分析 優良法人 (医業収入上位 20%)

- 医業収入は、平成 22 年調査対象優良法人平均で、128,082 千円。
対前年比 2.3%の増収。
- 医業収入の内訳では、保険診療、自由診療とも増収。
自由診療収入はプラス 7.9%と増加率が大きくなっております。
- 総収入に占める、自由診療収入の割合は、16.2%となっており、自費率向上が収益アップにつながった結果となっています。

3 | 医業費用 優良法人分析

(1) 優良法人 医業費用対前年比較

① 変動費 (歯科材料費・外注技工料)

(単位：千円)

	平成 21 年	平成 22 年	前年対比 (%)
変動費合計	26,536	29,182	109.9%
変動比率	21.2%	22.8%	
薬品・歯科材料費	12,657	13,491	106.6%
外注技工料	13,879	15,691	113.0%

② 人件費・役員報酬

(単位：千円)

	平成 21 年	(対収入比%)	平成 22 年	(対収入比%)	前年対比 (%)
人件費合計	53,973	43.1%	51,885	40.5%	96.1%
役員報酬	31,356	21.2%	30,194	22.8%	96.3%
その他人件費	22,617	43.1%	21,691	40.5%	96.0%

③その他医業費用

(単位：千円)

	平成 21 年	(対収入費%)	平成 22 年	(対収入費%)	前年対比 (%)
固定費合計	33,469	26.7%	30,232	23.6%	90.3%
設備関係費	16,574	13.2%	15,986	12.5%	96.5%
(うち減価償却費)	(6,393)	(5.1%)	(5,728)	(4.5%)	(89.6%)
接待交際費	2,149	1.7%	1,848	1.4%	86.0%
研究研修費	302	0.2%	367	0.2%	121.5%
保険料	1,888	1.5%	1,848	1.5%	97.9%
その他	12,556	10.0%	10,183	7.9%	81.1%

(2)医業費用分析 優良法人 (医業収入上位 20%)

●医業費用

医業費用総額 111,299 千円。対前年比 2.4%減少。

●変動費

平成 22 年優良法人平均で、29,182 千円。

対前年比 9.9%の増加となり、医業収入の増加に比例して増加しています。

優良法人でも、もう一段の歯科材料費や外注技工料の削減努力が必要と思われます。

●人件費

平成 22 年優良法人平均で、51,885 千円。対前年比 3.9%の減少。

売上対比の人件費率は、40.3%と全法人平均より低くなっています。

役員報酬の平均は、30,194 千円。

売上対比の役員報酬の占める比率は、23.6%で前年とほぼ同比率です。

●その他医業費用

医業収入は伸びていますが、コストの削減にもしっかりと取り組んでおり、成果も数字に現れています。

3 | 平成 22 年 歯科医院経営指標分析

【データ分析概要】

歯科医療法人 70 件を分析母体とし、平成 22 年の決算データを集計。

うち、医業収入上位 20%（14 件）を抽出し、優良法人として経営データを集計。

■平成 22 年比較貸借対照表 全法人・優良法人(医業収入上位 20%)

(単位：千円)

	資産の部		負債の部		
	全法人	優良法人		全法人	優良法人
【流動資産】	25,953	54,173	【流動負債】	7,811	12,325
現金・預金	6,392	14,268	買掛金	1,093	2,973
医業未収金	7,372	14,567	短期借入金	2,822	3,046
未収金	682	990	未払金	3,360	5,164
診療材料	656	714	預り金	536	1,142
短期貸付金	9,665	20,678			
未収収益	1,304	3,174	【固定負債】	17,119	42,105
貸倒引当金	-118	-218	長期借入金	17,119	42,105
【有形固定資産】	21,262	27,569	負債合計	24,930	54,430
建物	10,644	14,897	資本の部		
建物付属設備	3,039	4,041		全法人	優良法人
構築物	571	849	【出資金】	6,586	7,963
医療用機械備品	3,819	4,307	【資本剰余金等】	26,855	30,047
車両船舶	3,189	3,475			
【無形固定資産】	244		資本合計	33,441	38,010
【その他の資産】	10,912	10,698			
保険積立金	7,930	8,459	負債・資本合計	58,371	92,440
長期前払費用	2,982	2,239			
資産合計	58,371	92,440			

1 | 収益性分析

		全法人平均	優良法人平均	差異
収益性	総資本経常利益率 (%)	3.3%	13.8%	10.5%
	医業収入医業利益率 (%)	3.1%	9.9%	6.8%
	医業収入経常利益率 (%)	3.1%	9.9%	6.8%
	総資本回転率 (回)	1.1 回	1.4 回	0.3 回

■ 指標計算式

指標名	目的	計算式
総資本経常利益率	資本を使ってどれだけ効率的に利益を上げたかを見る指標です。	経常利益 ÷ 総資本 × 100 (%)
医業収入医業利益率	医業活動における利益を医業収入で除した指標です。	医業利益 ÷ 売上高 × 100 (%)
医業収入経常利益率	医業利益に医業外損益を加えた経常利益を医業収入で除したものです。	経常利益 ÷ 医業収入 × 100 (%)
総資本回転率	資本の何倍の医業収入があるかを見る指標です。	医業収入 ÷ 総資本

2 | 生産性分析

		全法人平均	優良法人平均	差異
生産性	限界利益率 (%)	79.2%	77.2%	-2.0%
	1人当たり医業収入/月 (千円)	625 千円	914 千円	289 千円
	1人当たり限界利益/月 (千円)	561 千円	818 千円	257 千円
	1人当たり人件費/月 (千円)	404 千円	424 千円	20 千円
	労働分配率 (%)	65.3%	56.6%	-8.7%

■ 指標計算式

指標名	目的	計算式
限界利益率	医業収入から変動費（外部購入費用）を控除した限界利益（付加価値）の医業収入に対する比率です。	限界利益 ÷ 医業収入 × 100 (%)
一人当たり医業収入	一人当たりの医業収入の効率を見る指標です。	(医業収入 ÷ 従業員数) ÷ 12 ヶ月
一人当たり限界利益	一人当たりの限界利益創出力を見る指標です。労働生産性ともいいます。	(限界利益 ÷ 医業収入) ÷ 12 ヶ月
一人当たり人件費	一人当たりの総額人件費（社会保険料などの企業負担も含めたもの）を見る指標です。	(総額人件費 ÷ 従業員数) ÷ 12 ヶ月
労働分配率	限界利益に占める人件費の割合を見る指標です。	総額人件費 ÷ 限界利益 × 100 (%)

生産性分析コメント

- 限界利益率は必要程度確保されており、前年対比増加しています。これは、変動費の削減努力が結果となって表れているものと思われます。特に、優良法人では、社会保険診療の割合を減らし、自由診療に重点が置かれている傾向が見られます。
- 一人当たりの売上高（医業収入）
全法人平均では 625 千円、優良法人では 914 千円と、289 千円の差が出ています。全法人平均でみると、総体的に低いレベルにあり、医業収入の増加やスタッフ数の削減検討が必要な歯科医院もでてきています。優良法人との差は、この指標に表れています。
- 一人当たり限界利益
全法人平均では 561 千円、優良法人では 818 千円と、257 千円の差が出ています。やはり、売上の質の検討（保険収入と自費収入の割合）変動費のコスト削減の努力が必要です。優良法人との差は、この指標にも表れています。
- 一人当たり人件費
全法人平均では 404 千円、優良法人では 424 千円と、20 千円の差が出ています。若干ではありますが、優良法人が高くなっています。
- 労働分配率は同業他社と比較して低く抑えられています。

3 | 安全性分析

		全法人平均	優良法人平均	差異
安全性	流動比率 (%)	332.3%	439.5%	107.2%
	当座比率 (%)	176.2%	234.0%	57.8%
	固定比率 (%)	64.0%	72.5%	8.5%
	固定長期適合率 (%)	42.3%	34.4%	-7.9%
	自己資本率 (%)	57.1%	41.1%	-16.0%

指標計算式

指標名	目的	計算式
流動比率	短期的な債務返済能力を見る指標です。	流動資産 ÷ 流動比率 × 100 (%)
当座比率	流動資産の中で特に換金性の高い当座資産による短期返済能力を見る指標です。	当座資産 ÷ 流動比率 × 100 (%)
固定比率	固定資産が自己資本でどれだけ調達できているかを見る指標です。	固定資産 ÷ 自己資本 × 100 (%)
固定長期適合率	固定資産が自己資本と長期負債でどれだけ調達できているかを見る指標です。	固定資産 ÷ (自己資本 + 長期負債) × 100 (%)
自己資本比率	総資産に占める自己資本（純資産）の割合を見る指標です。	自己資本 ÷ 総資産 × 100 (%)

■安全性分析コメント

- 全法人平均、優良法人とも、流動比率・当座比率とも高く、短期的な債務返済能力は高いといえます。換金可能な資産による債務返済能力も高いといえます。自己資本比率も他業種と比較して高い水準にあり、財務体質は健全といえます。

4 | 成長性分析

		全法人平均	優良法人平均
成長性	医業収入増加率 (%)	-6.8%	2.3%
	限界利益増加率 (%)	-5.5%	0.2%
	医業利益増加率 (%)	-69.5%	69.2%
	経常利益増加率 (%)	-69.5%	69.2%
	自己資本増加率 (%)	4.6%	23.7%

■成長性分析コメント

- 全法人平均では、全体として前年対比マイナスであるのに対して、優良法人平均では、全ての成長性分析指標で前年度プラスに推移しています。
- 上記結果より、歯科医院の経営の二極化の傾向が顕著になっていることが明らかです。